

# 第1回コラムテーマ:「住宅窓改修でできる適応策」

## ●はじめに

地球温暖化は最も大きな環境問題の一つとされ、集中豪雨の増加による河川の洪水や土砂災害などの自然災害、気温の上昇による熱中症の増加等の健康被害やデング熱などの感染症のリスクの拡大など身近な生活面においても影響が顕在化しています。



地球温暖化対策には、

- ① 原因となる温室効果ガスの排出を減らして、温暖化の進行を抑える「**緩和策**」
- ② 既に起こりつつある影響に対して、自然や社会の在り方を調整し、被害を回避・軽減する「**適応策**」

があり、両方の取組みが必要ですが、特に私たちの暮らしを自ら守る「**適応策**」の重要性が注目されています。

福岡市においても、ヒートアイランド現象とあいまって、100年(1913年～2013年)あたりの平均気温が約3℃上昇しているため、『打ち水』や『緑のカーテン』で夏の暑さをしのぐこと、こまめな水分補給や帽子の着用で熱中症を予防することなどは、皆さんが身近に取り組むことができる「適応策」です。

## ●福岡市での取り組み

福岡市では、近年の熱中症の増加など気候変動の影響に対する「適応策」として、住宅窓の複層ガラス等への改修促進に取り組んでいます。

最近、屋内での熱中症が増加しており、水分補給等の行動に気を付けるだけでなく、住宅の断熱改修をして住環境を改善することが効果的だからです。

では、なぜ壁や天井だけでなく窓の改修を促進するのでしょうか。

- ① 住宅における熱の出入りの割合は窓などの開口部が50%以上であるため、窓の改修は、住宅の断熱性の向上に効果的です。
- ② 部分的な改修工事となるので多額の費用がかからず、工事期間も短くすむため、取り組みやすいと考えます！



～ 改修の種類 の 例 ～

改修の種類の詳細は  
11月号に掲載予定

また、熱中症の予防だけでなく、下記のような様々な効果が見込まれています。

### 住宅の窓の改修効果

- ① 熱中症やヒートショックを予防し、健康リスクを下げ安心感を向上
- ② 結露の防止や防音等による、快適性を向上
- ③ 省エネ効果の向上による、光熱費の削減 など

以上のように、住宅窓の改修は様々な効果があります。

みなさまもぜひ住宅窓を改修してみませんか？

次回のコラムテーマは「窓に関する悩みについて」です！

現在、広報活動にご協力いただいている市民モニターの意見や感想も掲載いたします！

ぜひご覧ください！！